

サステナビリティ観光学部 (ST)

Ritsumeikan
Asia Pacific University

いちばん
青い学部。

未熟だから青いのではない。
可能性に溢れているから青いのだ。

青。それは、可能性の色。
青。それは、あなたの色。
青。それは、地球の色。

ひとつの地球を活かす「Sustainability」。
ひとつひとつの地域を世界へつなぐ「Tourism」。
それは、これからの時代に必然の学び。

わたしたち立命館アジア太平洋大学は、
地球課題に立ち向かう、勇気ある人材を育てたいと思う。

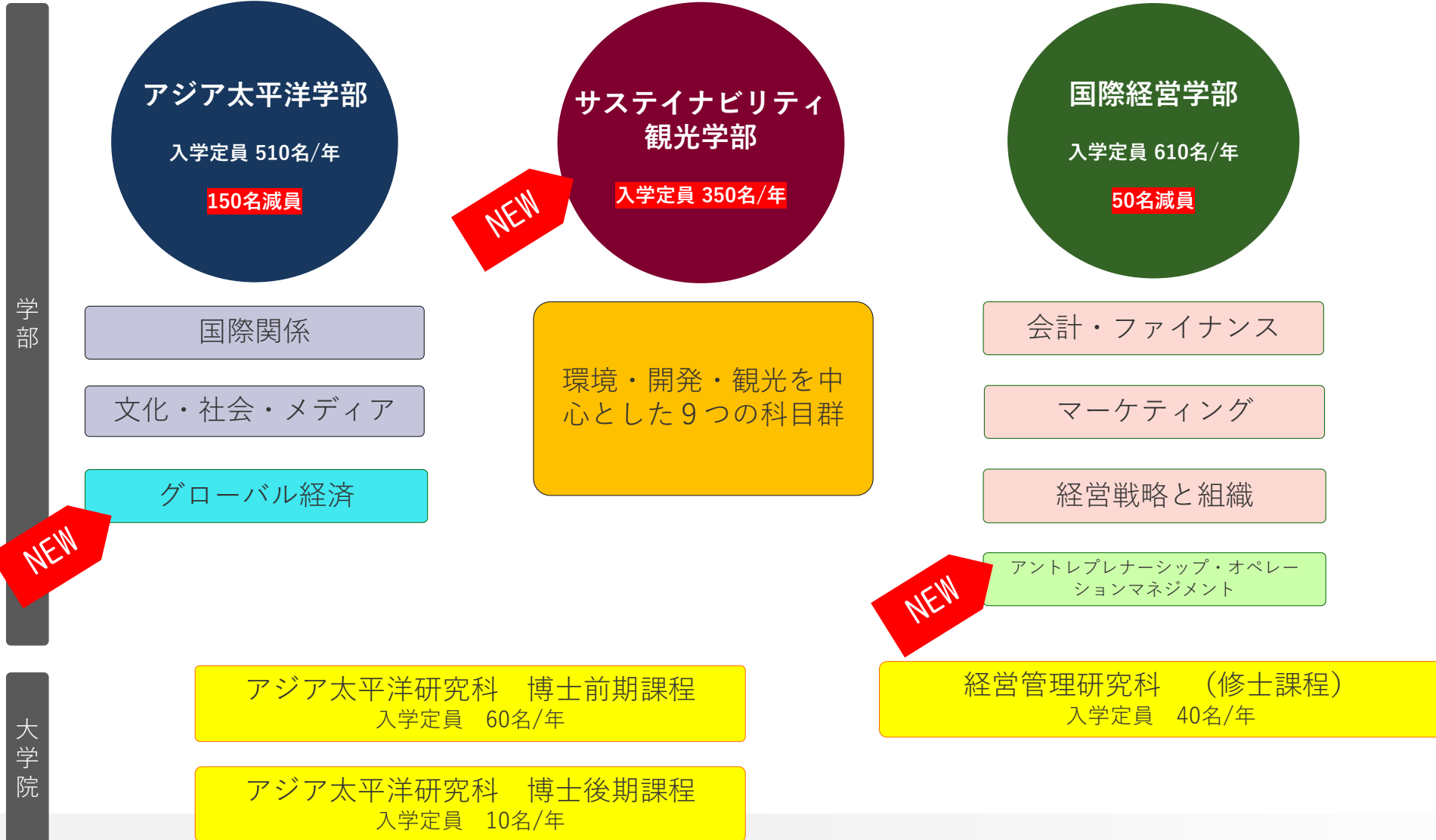
地球に、まだない答えを。
2023年春、APUの新たな挑戦が始まります。

サステナビリティ観光学部、新設。
—— APU、第2の開学。

2022まで：2学部 2研究科



2023年度からのAPU：3学部2研究科



サステイナビリティ観光学部開設3つの理由

地球規模の
環境問題

グローバル化による
地域文化の消滅
格差問題

持続可能ではない
現在の社会・経済の仕組み

社会課題解決という使命

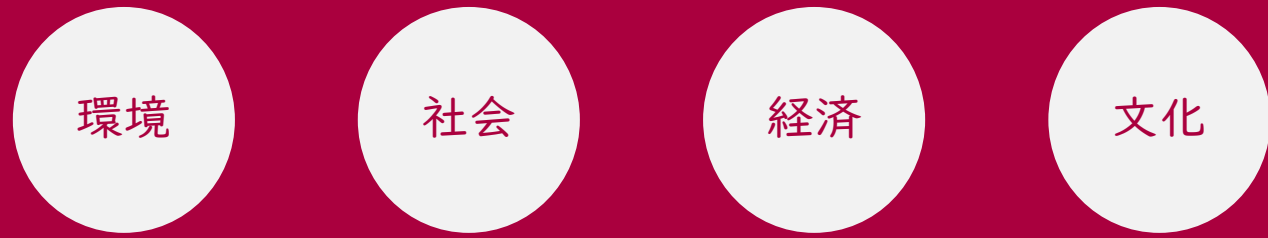
「サステナビリティ観光学部」 3つの特徴

社会課題解決という使命から生まれた学び

1. **学ぶ領域**：日本で唯一の「サステナビリティ観光学」を学べる学部
2. **学び方**：理論と実践の両アプローチから主体的から学ぶ
3. **多様性・実践力ある教授陣**：世界13の国と地域出身の、多様な専門性をもった教授陣

日本で唯一の「サステナビリティ観光学」を学べる学部 | APUが考える サステナビリティ観光学部とは

持続可能な社会実現に必要な4つの要素



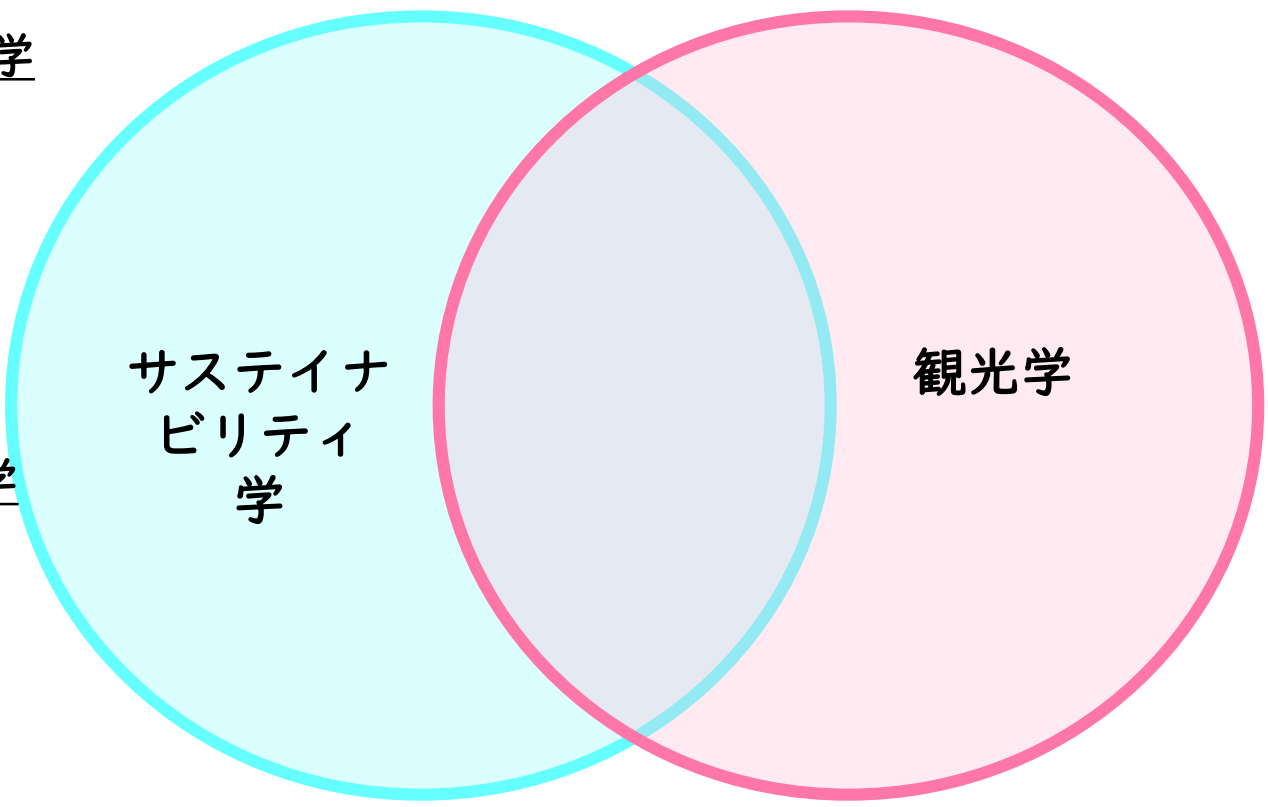
従来のサステナビリティ学
理工系アプローチ

環境を主軸とした
問題探求の学問



APUのサステナビリティ学
文系アプローチ

4つの柱を網羅し、
実社会の問題解決策を
考える学問



観光

- レジャー
- 移動
- 物流
- コミュニティ作り
- 地域活性

理論と実践の両アプローチから主体的から学ぶ | サステナビリティ学 x 観光学
複合的に学べる9つの専門科目群

持続可能な社会実現に必要な4つの要素

- 環境
- 社会
- 経済
- 文化



 環境学
ENVIRONMENTAL STUDIES

自然や社会、経済、教育の側面から学びの基礎となる環境学を深める

 資源マネジメント
RESOURCE MANAGEMENT

循環型社会、エネルギー、気候変動を中心に社会における環境・資源の適切なマネジメントを学ぶ

 国際開発
INTERNATIONAL DEVELOPMENT

社会学、人類学、経済学、政策学などの視点から、世界の貧困や開発問題を学ぶ

 地域づくり
REGIONAL DEVELOPMENT

観光地を中心とした持続可能な開発や地域デザインについて学ぶ

 社会起業
SOCIAL ENTREPRENEURSHIP

社会課題を解決するNGO/NPOや社会的企業の経営、プロジェクトマネジメントなどについて学ぶ

 データサイエンスと情報システム
DATA SCIENCE & INFORMATION SYSTEM

課題解決に必要な基礎的なデータ分析スキルやITスキルを身につけ、専門分野への応用を行う

 観光学
TOURISM STUDIES

経済、社会、歴史、文化などの側面から学びの基礎となる観光学を深める

 ホスピタリティ産業
HOSPITALITY OPERATION

ホテルやリゾートに焦点を当て、これからのサービス業のマネジメントについて学ぶ

 観光産業
TOURISM INDUSTRY OPERATIONS

観光を産業としてとらえ、観光産業の分析、観光における新製品の創出、マーケティング方法を学ぶ

理論と実践の両アプローチから主体的から学ぶ | 産学官連携のリアルな 社会課題解決型学修

目的や期間に応じて、**3種類の学外での学びの機会**を提供
学んだ理論を実践を積んで体得することで、**学問的実務家**を育む



- ・「Heritage Tourism in Urban and Rural Landscapes」
(実習地：イタリア、スペイン)
- ・「国際機関の役割と活動」
(実習地：スイス、フランス、東京)
- ・「グローバル・リサーチ」
(実習地：上海、ソウル、ストックホルム、バンクーバー)

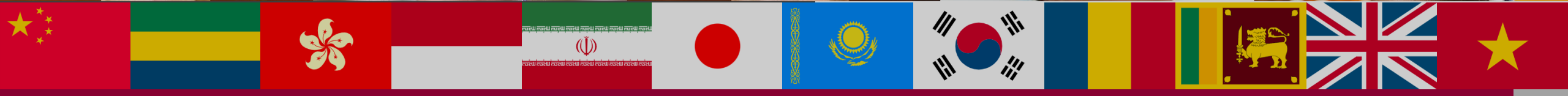


国連世界観光機関(UNWTO)
World Tourism Organization

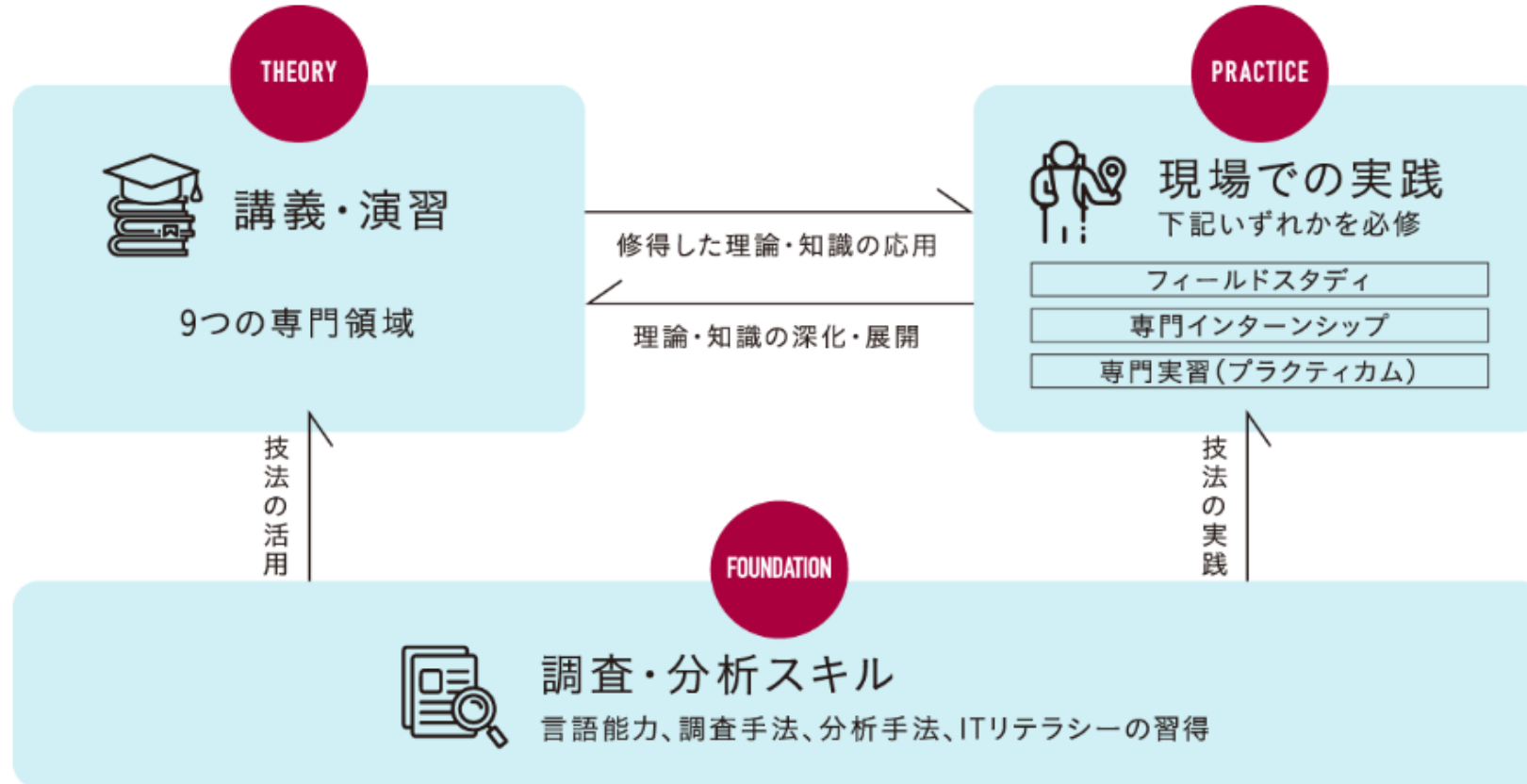


*実習・連携先は過去の実績の一部。今後さらに開拓予定

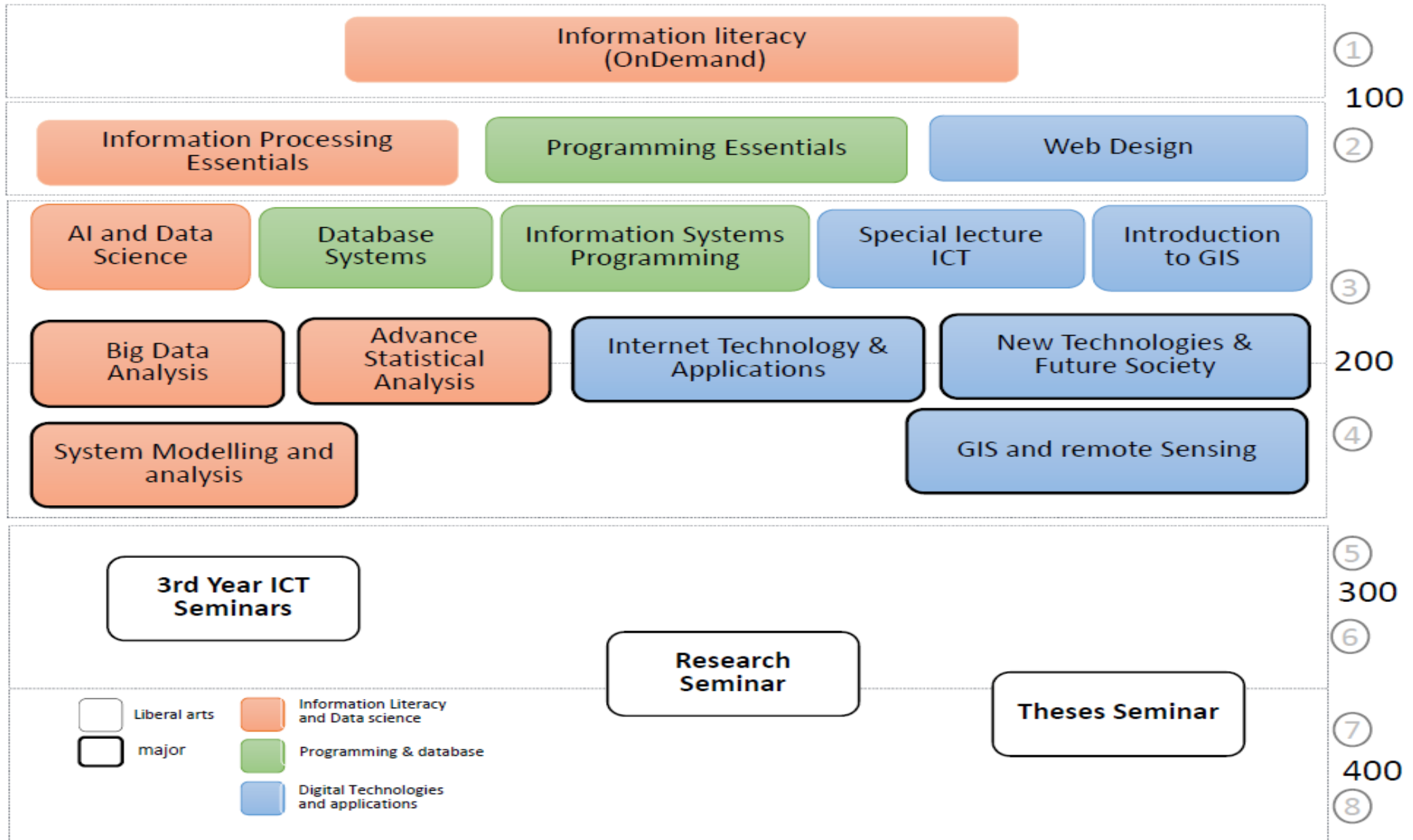
学問的実務家を育てる多様性と実践力ある教授陣 | 横断型の多様な視点での学びを提供



基礎を築き、理論を纏い、実践で磨く

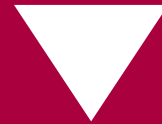


COURSE OUTLINE



「サステイナビリティ観光学部」 3つの特徴：まとめ

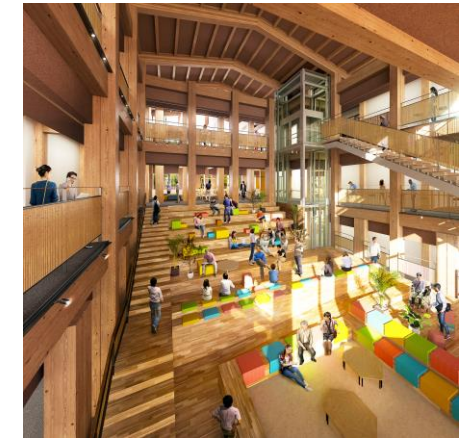
- 日本で唯一の「サステイナビリティ観光学」を学べる学部
- 理論と実践の両アプローチから主体的に・横断的に学ぶ
- 多様な視点での実践力ある学びを提供する教授陣



学問的実務家

- 次世代も安心して暮らしていける社会の実現に向けて、「未来につながる地域の価値」を発見・保護し、その価値を世界に発信する社会のイノベーター、地域のプロデューサー
- あらゆる組織・社会活動にもとめられる、持続可能性に取り組むキャリア

2023.4.1、第2の開学を無事迎えた



前夜祭



<https://www.apu.ac.jp/home/news/article/?storyid=3415>

新学部2023SP一期生の構成

- 言語基準別

 - 日本語基準： 210

 - 英語基準： 52

- 20の国や地域からの学生

 - 日本208名、ミャンマー18名、タイ8名、ネパール4名、
 - バングラデシュ 3、韓国 3、中国 3、インドネシア 2、
 - マレーシア 2、イギリス 1、イラン 1、インド 1、ケニア 1、
 - スリランカ 1、ナイジェリア 1、フィジー 1、ベトナム 1、
 - リベリア 1、香港 1、台湾 1

コミュニティづくり：入学前から準備

コミュニティづくり①別府温泉ぶっかけ祭り (4/2)



<https://www.apu.ac.jp/home/news/article/?storyid=3416>

コミュニティづくり②阿蘇くじゅうミニFS (4/16)



これから学部として力を入れたいこと

- カリキュラムの確実な遂行
- 理論を実践に応用できる学び
 - フィールドスタディ
 - 専門実習
 - 専門インターンシップ
- アカデミックアドバイジング制度
- 学部のブランディング

Field study AY2023

| 教員氏名J | 教員氏名E | Sub. C | Sub. Nam | Content | Cre |
|-------------------|---------------------|--------|-------------|--|-----|
| 轟 博志 | TODOROKI Hiroshi | 038310 | Field Study | AGR Seoul (plans to offer separate classes by E and J) | 2 |
| 石川 剛生 | ISHIKAWA Takeo | 038310 | Field Study | JICA Kyushyu JICA九州 | 2 |
| 木村 力央 | KIMURA Rikio | 038310 | Field Study | Toho Village 東峰村 | 2 |
| VAFADARI M. Kazem | VAFADARI M. Kazem | 038310 | Field Study | Italy, Spain | 4 |
| 上原 優子 | UEHARA Yuko | 038310 | Field Study | Kumamoto 熊本 | 2 |
| 土橋 卓也 | TSUCHIHASHI Takuya | 038310 | Field Study | Iida 飯田 | 2 |
| 土橋 卓也 | TSUCHIHASHI Takuya | 038310 | Field Study | Kitakyushyu 北九州 | 2 |
| 吉澤 清良 | YOSHIZAWA Kiyoyoshi | 038310 | Field Study | Niseko ニセコ | 2 |
| 吉澤 清良 | YOSHIZAWA Kiyoyoshi | 038310 | Field Study | To be implemented in Japan | 2 |
| KC Dipendra | KC Dipendra | 038310 | Field Study | | 2 |

Practicum AY2023

| 教員氏名 | 科目名J | 科目名E | 科目内容 | Course Content | 開講言語 | セメスター |
|--------------------------|------|-----------|-------------------|--|------|-------|
| KANO Eiji 狩野 英司 | 専門実習 | Practicum | DXによる公共課題の解決 | Solving public issues with DX | J | SP |
| ABE Masuo 阿部 万寿夫 | 専門実習 | Practicum | 別府観光 | Beppu sightseeing | J | SP |
| YOTSUMOTO Yukio 四本 幸夫 | 専門実習 | Practicum | コミュニティ開発における観光の役割 | The role of tourism in community development | E/J | FA |
| VAFADARI M. Kazem | 専門実習 | Practicum | コミュニティ開発における観光の役割 | The role of tourism in community development | E/J | FA |
| KUBO Takayuki 久保 隆行 | 専門実習 | Practicum | おおいた遺産 | Oita Heritage | J | FA |
| MATSUO Yuji 松尾 雄司 | 専門実習 | Practicum | 九州電力寄附講座 | Kyushu Electric Power Endowed Course | J | FA |
| KAANO Eiji 狩野 英司 | 専門実習 | Practicum | DXによる公共課題の解決 | Solving public issues with DX | E | FA |
| HU Feiyu | 専門実習 | Practicum | 別府観光 | Beppu Tourism | E | FA |
| YOSHIZAWA Kiyoyoshi 吉澤清良 | 専門実習 | Practicum | 別府まちづくり | Beppu city planning | J | FA |

ご清聴ありがとうございました！

これからも温かくお見守りください